

医療・救急

子育てをしていると、「子どもの熱が急に高くなった!どうしよう」、「子どもがやけどをした!」など、突然の病気や事故が起こる事もあります。

「もしも…」のときに慌てることがないように、日頃から確認をしておきましょう。

1 かかりつけ医を持ちましょう!

お問い合わせ ▶ 0568-85-6167 〈健康増進課〉

「かかりつけ医」とは、皆さんやご家族の病気のことについてよく知っている身近な医師のことです。今、かかっている病気やこれまでにかかった病気、何の薬を飲んでいるかなど、「日頃からの安心」「何かあったときの安心」のため、普段から「かかりつけ医」に相談しておけば、皆さんにとっても心強いのではないのでしょうか。

日々の健康管理に役立つだけでなく、いざというときに適切な判断によって最適な診療を受けることができます。

また、「かかりつけ医」だけではなく「かかりつけ歯科医」や「かかりつけ薬剤師」も日頃から意識しておきましょう。

◆子どもの救急ハンドブック お問い合わせ ▶ 0568-85-6343 〈消防救急課〉

あなたのお子さんが、夜間や病院が休みの時に、病気やケガをしたらどうしますか?

「病院は?」「救急車を呼ぶべき?」「どうしよう?」「大丈夫かな?」などの経験は誰にでもあるはずです。

このハンドブックはそんな不安に対して、少しでもお役に立てるような内容が掲載されています。いざという時に、素早く対応できるように日頃から目を通しておきましょう!!

2 休日や平日夜間に急病になったときは…

■かかりつけ医にお問い合わせください。

かかりつけ医であれば、普段の診察や情報などから総合的に判断し、適切な治療が受けられます。

■かかりつけ医が不在のときには、休日・平日夜間急病診療所で診療が受けられます。

診療時間などを確認し、事前に連絡してから受診してください。

春日井市休日・平日夜間急病診療所(総合保健医療センター) 0568-84-3060

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	平日夜間 ※祝休日及び年末年始は除く	21:00~23:30
	土曜日 ※祝休日及び年末年始は除く	18:00~21:00
	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30~1/3)	9:00~12:00 13:00~17:00 18:00~21:00

診療科目	診療日	診療時間
外科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30~1/3)	9:00~12:00 13:00~17:00
	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30~1/3)	9:00~12:00
歯科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30~1/3)	9:00~12:00

※受付は診療開始時間の30分前から診療終了時間の30分前までです。
※この急病診療所は、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力で実施しています。

あいち救急医療ガイド(愛知県救急医療情報システム)

ホームページアドレス <https://www.qq.pref.aichi.jp/>

※インターネットで、その時に受診可能な医療機関を検索することができます。なお、受診する前に、必ず直接医療機関にお問い合わせください。



安全安心情報ネットワーク

登録をされた皆さんに、気象等情報(気象・地震など)や安全安心情報(犯罪・不審者など)、消防情報(火災など)を携帯電話やパソコンなどにお知らせします。

右のQRコードを読み取り、市のホームページから登録サイトへアクセスしてください。



3 こんなときどうする？

子どもの急な病気や、赤ちゃんの事故など、子育てをしていて「どうしたらいいのだろう？」と迷ったときの、受診の目安をまとめました。

◆発熱 発熱したときの受診の目安

生後3か月未満

- ① 38.0℃以上の発熱。
- ② 38.0℃未満でも、少し様子を見て体温が上がってきた。

医療機関で受診してください。

生後3か月～6歳

- ① 元気がなく、ぐったりしている。
- ② おしっこが出ない。
- ③ 活気がない。
- ④ よく眠れずに、うとうとしている。
- ⑤ 水分をとるのを嫌がる。
- ⑥ 呼吸がおかしい。

1つでも当てはまれば医療機関で受診。1つも当てはまらない時は、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆おう吐 おう吐したときの受診の目安

生後3か月未満

いつもと違って、母乳、ミルクを飲むたびに勢いよくおう吐を繰り返す。

医療機関で受診してください。

その他…

- ① おなかが張っていて、ぐったりしている。
- ② 我慢できないほどの、激しい腹痛を訴える。
- ③ 血液や胆汁（緑色の液体）を吐く。
- ④ 活気がなく、無気力。
- ⑤ いつもと違う様子である。
- ⑥ げりが12時間以上続いて、ぐったりしている。
- ⑦ おしっこが出ない。
- ⑧ くちびるが乾いて、ぐったりしている。
- ⑨ 頭痛を訴えており、うとうとしたり、ちょっとした刺激に過敏に反応したりする。
- ⑩ 血便がでる。

1つでも当てはまれば医療機関で受診。1つも当てはまらない時は、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆誤飲 誤飲したときの受診の目安

- ① 意識がない。
- ② けいれんを起こす。

すぐに救急車を呼びましょう！

- ① 何を飲んだか分からない。
- ② ボタン電池・硬貨・灯油・ベンジン・マニキュア・除光液・排管洗浄剤・酸・しょうのうなどを飲んだ。

吐かせないで医療機関で受診。

たばこ・ホウ酸団子・ナフタリン・パラジクロルベンゼン・大量の医薬品・化粧水などのエタノールを含むものを飲んだ。

無理に吐かせないで医療機関で受診。

化粧品・シャンプー・芳香剤・石けん・マッチ・クレヨン・シリカゲル・粘土・保冷剤・体温計の水銀・植物活力剤などを飲んだ。

口の中のものは取り除き、しばらく様子を見て、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆急性中毒になったとき

(財)日本中毒情報センターでは、365日中毒110番として化学物質、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しています。

大阪 072-727-2499【24時間対応】
 つくば 029-852-9999【24時間対応】
 たばこ誤飲事故専用電話 072-726-9922【24時間対応】